平成25年度　防災講演会

災害の世紀・防災を考える

～風土が語る災害への警鐘～

◆ 災害の世紀・防災を考える

講師　竹林征三　氏

（富士常葉大学名誉教授・山口大学時間学研究所客員教授）

◆ 地名から知る自然災害への警鐘

講師　太宰幸子　氏

（宮城県地名研究会会長）

先着
200名
入場無料

日時： 平成25年11月18日（月）

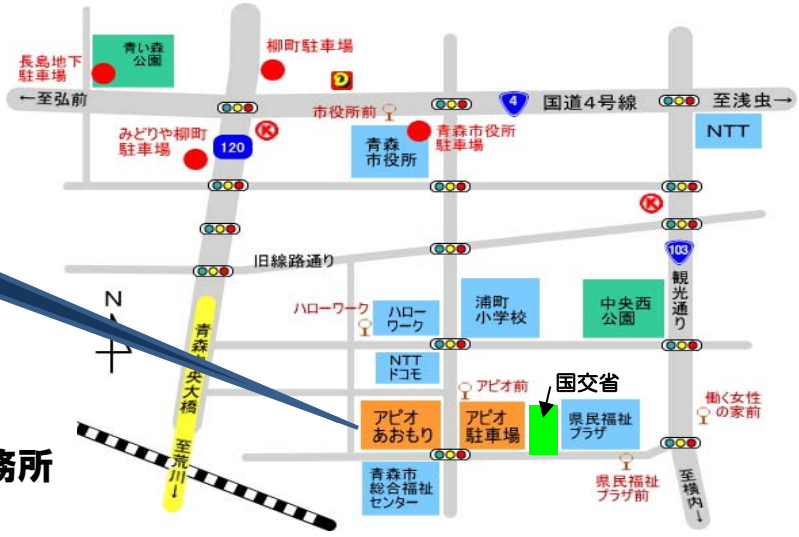
開場13:30　講演14:00～17:20

会場： アピオあおもり イベントホール

青森市中央三丁目17-1

TEL017-732-1010

「アピオあおもり」
※なるべく公共交通機関を
ご利用下さい。



参加方法： 裏面をご覧ください。

主催： 国土交通省青森河川国道事務所

共催： 青森県

（社）全国技士会CPDS認定プログラム

“災害の世紀・防災を考える” 講演会プログラム

◆プログラム◆

開場　　13:30

開演　　14:00～14:10　開会挨拶　　国土交通省青森河川国道事務所　所長　　盛谷明弘 氏

講演①　14:10～15:40　「災害の世紀・防災を考える」

富士常葉大学名誉教授・山口大学時間学研究所客員教授　　竹林征三　氏

休憩　　15:40～15:50

講演②　15:50～17:20　「地名から知る自然災害への警鐘」　　宮城県地名研究会　会長　　太宰幸子 氏

◆講師プロフィール◆

太宰 幸子 氏

宮城県大崎市鹿島台生まれ。日本地名研究所理事、宮城県地名研究会会長、東北アイヌ語地名研究会会長、みやぎ街道の会顧問。2008年「「要害」地名調査研究報告書」で日本地名研究所・地名研究賞受賞。著書に「災害・崩壊・津波地名解～地名に込められた伝言」など多数ある。

竹林　征三　氏

1967年京都大学土木工学科卒業後、大学院を経て建設省に入省。土木研究所ダム部長、環境部長などを歴任。建設省退職後は土木研究センター風土工学研究所長を経て、富士常葉大学の設立と共に同大学教授に就任する一方、全国唯一の大学付属の風土工学研究所を設立。2011年大学退職にともない、大学付属研究所の研究を風土工学デザイン研究所に引き継ぎ、現在は同研究所理事長。

参加申込み方法

◆申込み先

青森河川国道事務所　調査第一課　宛

FAX:017－722－2540

下記に所属（会社名）・氏名・連絡先をご記入の上、左記のファックス番号までお送り下さい。申込みの人数が書ききれない場合は、この用紙をコピーしてお使い下さい。なお、先着200名としますので、定員になり次第受付を終了させていただきます。

申込み締切は、平成25年**11**月**11**日（**月**）です。

NO	所属（会社名）	氏名	CPDS証明希望者は○	代表者の連絡先
1 代表者				住所
2				
3				電話番号
4				
5				FAX番号

◆問い合わせ先

国土交通省 青森河川国道事務所　調査第一課　調査係

〒030－0822　青森市中央三丁目20－38

TEL　017－734－4560　FAX　017－722－2540